

波佐見 広報

HASAMI Public relations magazine

No.559

9

September 2009



HASAMI CONTENTS

GO ! GO !郷!! (自治会紹介) ……②	暮らしと情報……………⑫
役場からのお知らせ……………③	社協だより……………⑭
病気一口メモ……………⑦	『辺皿のひとりごと』……………⑯
みんなのひろば……………⑧	窓……………⑰
スポーツ……………⑩	暮らしのカレンダー・食育だより…⑯
波佐見高校だより……………⑪	

激闘！どろどんぎょ騎馬戦

8月16日、稗木場郷で『田んなか・どろどんぎょ祭り』が開催され、大人も子どもも泥まみれになりながら、笑顔で力いっぱい競技を楽しみました。

また、激しく体と体がぶつかり合う騎馬戦では、麦わら帽子争奪戦が繰り広げられました。

折敷瀨鄉



自治会長
中川 龍昭さん

折敷瀬郷は、波佐見町の中央北部で佐賀県有田町との県境に位置し、北の玄関口に波佐見有田インターがあり、全国へ通じています。また、県道の川棚有田線と佐世保嬉野線が交差しており、陶磁器関連事業所や住宅・商店などが次々と立ち並び、小・中学校や体育馆センター、総合文化会館などの文教地域が形成されています。

山々から流れる川は川棚川（波佐見川）となり、折れ曲がった川の形がお供え用の三宝（折敷）の姿だったので、折敷瀬の地名になったと言われています。

現在、世帯数は約700で、大きな自治会となっています。

日落成の運びとなりました。これも、先輩たちが守り育ててこられた功績であり、全世帯に紅白の餅と白磁の盃が配られ、一大事業をみんなで喜び合いました。また、子どもたちの健全育成を願い、町を通じてコミュニティ（宝くじ）助成事業を活用して、神輿（みこし）

郷の運動会は2年に1回開催され、内ノ波、西、小熊、舞相、荷土、山崎、江良山、甲辰園の八連合班対抗で盛り上がります。また、各連合班でも花見やグラウンドゴルフ大会、夏祭りなどをを行い、地域の絆を深めていきます。まもなくボートピアが完成し、長崎キヤノン（株）も着工され、新風が吹き、今後、確かなまちづくりが出来ることを願っています。



▲新築された折敷瀬郷鎮守〔岩倉神社〕

やハッピなどを揃え、手造りの神輿とともに、平成19年7月22日の岩倉神社献燈祭の日に第1回子どもみこし祭りを開催しました。暑い中、子どもたちが郷内を練り歩き、地域の方々に喜ばれて今年で3回目となりました。夜になると多彩な演芸が奉納され、たくさんの人出で賑わいます。

村木郷



自治會長
闡輝昭

波佐見町の北西部に位置する村
木郷は、北は佐賀県有田町、西は
佐世保市に隣接しています。中央
には村木川が流れ、両側には広大
な田園が広がり、その周辺には美
しい緑があふれる山々が連なつて
自然環境に恵まれた地域に242
戸の951人が住んでいます。

村木郷には歴史的な文化財も数
多く残つており、中でも「畠ノ原
窯跡」は慶長4年（1599年）
に当時の領主である大村喜前が朝
鮮から連れ帰った陶工李祐慶など
が築いたと伝えられており、波佐
見町最古級の窯と言われています。

窯の構造は連房式階段状登窯と
呼ばれ、第1室から第24室までが
確認されており、長さは55・4m
で当時の窯としては日本最大級の
ものです。畠ノ原窯跡は、昭和35
年に長崎県史跡指定を受け、平成
12年には国史跡の指定を受けてい

た大村藩、佐賀藩、平戸藩の境を示す「三領石」は、分水嶺が藩境となつていてことを現在に残し、その三角碑が村木峠の西北部に建てられています。

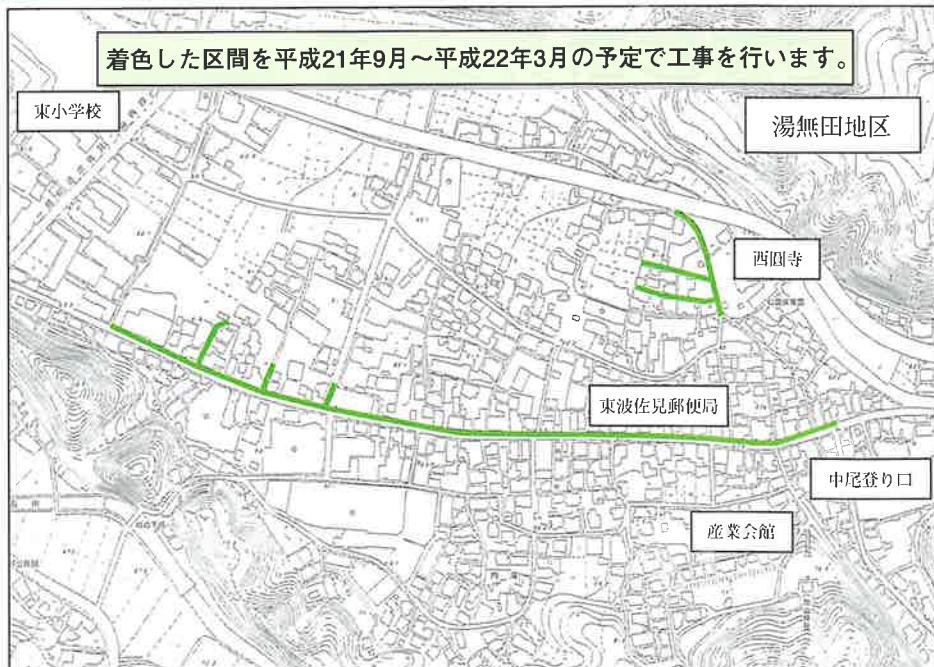
窯の駐車場では、地元の活性化と親睦・交流を深める場として、若者を中心に「畠ノ原祭り」を賑やかに開催しています。今年も10月18日に行いますので、是非お越しください。



▲国史跡「畠ノ原塚跡」



▲新春村木郷一周駅伝大会



上下水道工事への ご理解とご協力を

◎ 21年度工事力所について

今後接続できる地域を拡大するため、今年度も湯無田地区の下水道管布設工事を行います。また、下水道管布設工事に伴い、老朽化した上水道管の入れ替え工事も行います。工事期間中は片側通行や車両通行止となり、関係地区的皆様をはじめ、車で通行される皆様には大変ご迷惑をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願いします。

下水道は正しく使いましょう

最近、下水道のポンプ場や処理場へタオルや下着・生理用品などが流れ込み、ポンプが詰まる事例が発生しています。下水道に接続しても、何でも流していいということではありません。トイレットペーパー以外は流さないでください。
また、トイレなどに物を落として誤つて流された場合は、下水道管詰まりの原因になりますので、必ず役場へご連絡をお願いします。

問い合わせ先
役場上下水道課
☎ 85-2111

東彼杵郡合併協議会は「休止」になりました

東彼杵郡合併協議会は、住民発議で平成21年3月に設置され、これまで臨時会を含む5回の会議が開催されました。平成21年6月23日の臨時会において合併協議会の廃止に向けた手続きを進めることになりました。

これに伴い3町は、それぞれ平成21年8月7日の臨時議会において、「東彼杵郡合併協議会廃止」の議案を提案し、その結果、川棚町議会、波佐見町議会では可決され、東彼杵町議会では否決されました。

3町とも可決であれば、合併協議会は「廃止」になりますが、川棚町と波佐見町では廃止議案が可決、東彼杵町は否決となりましたので、法的には合併協議会は存続することになります。

しかし、実質的な合併に関する協議は行われず協議会の名前だけが残ることになり、「休止」の状態になります。

なお、8月以降合併協議会の事務は東彼杵町で行っています。

●問い合わせ先

〒859-3808 東彼杵町蔵本郷1850-6 東彼杵町役場 総務課 ☎ 0957-46-1111

個人住宅の「耐震診断」と 「耐震改修計画作成」を支援

地震に対する住宅の安全性の確保促進を目的に、戸建ての木造住宅の所有者を対象として、「耐震診断」と「耐震改修計画作成（設計）」を実施される場合、かかる費用の一部を助成します。

これから住宅の建て替えや改築などを計画される場合は、ご検討ください。申し込みと問い合わせは、役場が窓口となります。

●問い合わせ先：役場建設課 管理係 ☎85-2111（内線141）



①【耐震診断】

●対象住宅：昭和56年5月31日以前に、建築基準法に基づく建築確認を受けて建築された戸建ての木造住宅（3階建以下）

●対象者：町内に対象住宅を有し、町内に居住する方

●費用等：診断にかかる費用45,000円のうち15,000円を申請者が負担

●条件：診断の結果、耐震基準に適合しない場合は必ず「耐震改修計画作成（設計）」を実施することが要件です。診断のみでは補助の対象になりません。
ただし、耐震基準に適合した場合も対象とします。

②【耐震改修計画作成（設計）】

●対象住宅：上記の耐震診断を実施し、耐震基準に適合しないと診断された住宅

●対象者：耐震診断と同じ

●助成金等：耐震改修計画作成（設計）に要した費用の3分の2（ただし、7万円が限度額）

国の税制改正により、公的年金の支払いを受けている人の便宜と徴収の効率化を目的に、納付書や口座振替で納付している町県民税が、公的年金から天引きされます。

10月から

公的年金からの町県民税の
特別徴収が始まります

■実施時期

平成21年10月支給分から

■特別徴収の対象者

平成21年4月1日現在で、
公的年金の支払いを受けてい
る65歳以上の方で、町県民税
が課税となる公的年金の支払
いを受けている方。

■対象となる税額

公的年金に係る税額。現在、
公的年金所得分と給与所得分

の町県民税を合わせて給与か
ら天引きされている方または
納付されている方などは、制
度実施後は、別々に徴収され
ることになります。

※対象にならない方

・公的年金の支払額が、年額

18万円未満の方

・所得税、介護保険料などを

差し引いた後の年金から、

町県民税を天引きすること
ができない方

▼問い合わせ先

役場税務課 住民税係

☎85-2111
(内線121-122)

公的年金：国民年金、厚生年金、共済年金、企業年金など

特別徴収：町県民税を天引きにより納付する方法

普通徴収：個人で納付書及び口座振替で納付する方法

年金額の計算方法が 変わりました

基礎年金に係る国庫負担割合が、3分の1から2分の1に引き上げられます。

これまで、国民年金保険料の全額が免除された期間の年金額は、全額納付した場合と比較して3分の1で計算されていましたが、平成21年4月分からの期間は2分の1として計算されます。

平成21年4月分からの免除（全額免除・一部免除）申請を行った期間に係る老齢基礎年金の金額

免除区分	21年4月以降	21年3月以前
全額免除	4／8 (1／2)	2／6 (1／3)
1／4納付 (3／4免除)	5／8	3／6
半額納付 (半額免除)	6／8	4／6 (2／3)
3／4納付 (1／4免除)	7／8	5／6

「波佐見文化」 第23号原稿募集

波佐見町文化協会機関誌「波佐見文化」第23号の原稿を募集します。

- ◆内 容 隨筆・紀行文・読書感想文など
- ◆字 数 縦27字で88行以内
(専用の原稿用紙は教育委員会にあります)
- ◆締 切 10月末日まで
教育委員会窓口へご提出ください。
- ◆発 行 平成22年3月中旬
- 問い合わせ先 町教育委員会 ☎85-2034
※波佐見文化の表紙の写真も同時に募集します。



10月19日～25日は 行政相談週間

役場などへの要望や苦情を解決します！

くらしの中で、役場や国・県の行政機関などの仕事に対して「取り扱いが納得できない」、「こうしてほしい」といった苦情や要望があるときは、『その解決や実現に努め、行政運営の改善に役立てる』ことが行政相談制度です。

本町の行政相談委員は、村川昭次さん（川内）と野添元義さん（井石）です。

相談は無料で、秘密は固く守られますのでお気軽にご相談ください。

例えば・・・年金、医療保険、長寿医療制度、雇用保険、労災保険、登記事務、環境衛生、道路、消費者保護、行政窓口サービスなど



行政相談委員
村川昭次さん
☎85-3483



行政相談委員
野添元義さん
☎85-2897

困ったことは何でも！

行政 人権 心配ごと

合同相談所開設

子どもの問題や悩み、行政に対する要望、人権などのご相談に応じます。

相談は無料ですので、お気軽にご相談ください。

10月21日(水)

10:00～12:00

13:00～16:00

■場所

役場第3会議室

10月
から

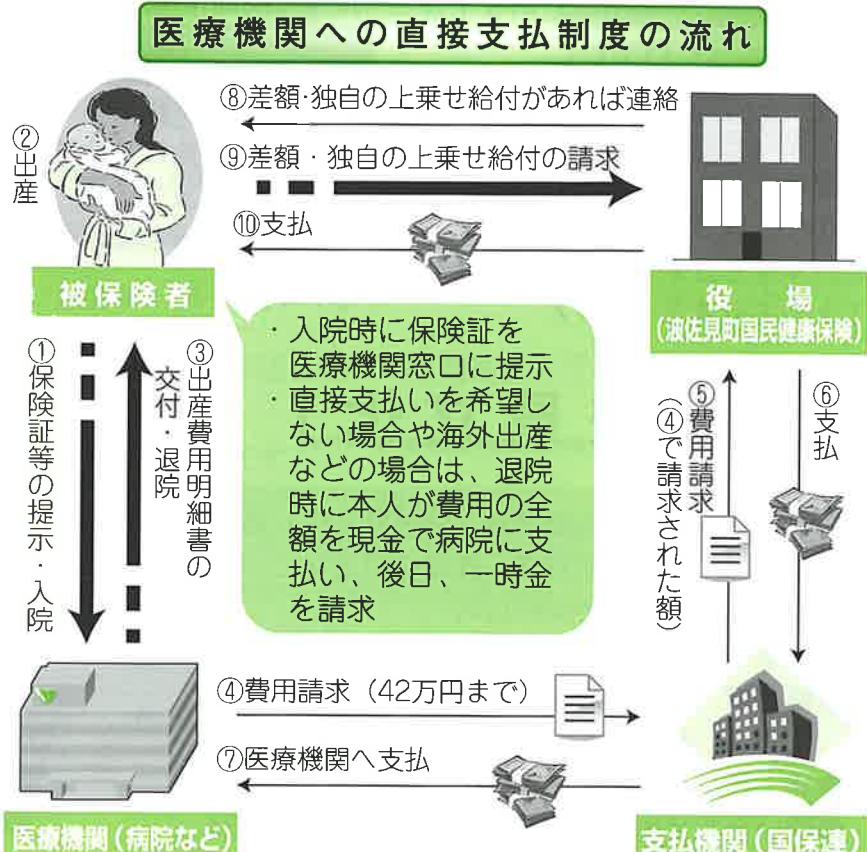
出産育児一時金の4万円引き上げと 医療機関への直接支払制度を開始

国民健康保険における出産育児一時金は、現在、原則38万円を支給していますが、平成21年10月から4万円引き上げ、*原則42万円になります。

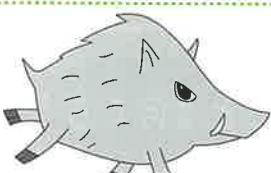
また、10月からは出産育児一時金を原則として、役場ではなく医療機関（病院など）で手続きをして、役場（波佐見町国民健康保険）から医療機関へ支払う制度に改めます。それに伴い、出産育児一時金受領委任払は終了の見込みです。

これらは、緊急少子化対策（平成21年10月から平成23年3月末までの暫定措置）として実施します。

*「産科医療補償制度」に加入している病院などで分娩等をした場合に限ります。それ以外は、35万円から4万円引き上げた39万円となります。

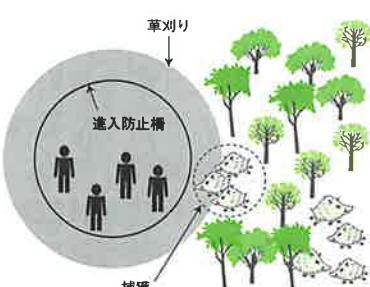


※出産費用が一時金の上限（原則42万円）を超える場合、退院時に医療機関から被保険者へ実費が請求されます。



イノシシの被害を防ごう！

- ◆イノシシは夜行性ではありません。警戒心が強いため昼間は山や農地付近の藪の中で仮眠を取って様子を伺っています。高さが50cm程あれば十分隠れます。
- ◆イノシシは農作物だけでなく、柿や栗、生ゴミや野菜くず等も大好物です。最近では、墓地のお供え物や飼い犬の餌も狙われています。
- ◆電気が入っていないかったり、草刈りがこまめにされていない電気柵はイノシシを慣れさせるだけとなり、他の農地の被害拡大へ拍車をかける場合もあります。
- ◆色・音・光などの鳥獣害対策グッズが販売されていますが、効果が一時的なものばかりです。**最も効果がある方法**は、こまめな草刈りや柵を設置し、山へ追い返し、その後に人里近くに残ったイノシシの捕獲です。
- ◆捕獲については、波佐見猟友会へ委託し、実績が挙がっています。**無免許のワナは違法です。**自分の農地であってもワナを仕掛けるときには、狩猟免許取得後に捕獲許可が必要です。
- 問い合わせ先 役場農林課 農政係 TEL85-2111（内線151）



波佐見の川・大探検2009

川遊び楽しい♪

8月8日、川遊びを通して自然環境を考える『波佐見の川・大探検2009』が給食センター前河川敷で開催され、大人と子どもの約50人が参加しました。

強い日差しの中、参加した子どもたちは、まず川周辺のゴミ拾い。30分間空き缶などを集め、中には、タイヤやパイプなどの大きなゴミもありました。

その後、待ちに待った魚捕り大会では、網を片手にフナや川ナマズを追いかけ、「こっちに大きかとのおる！」と“大物”を見つけると、子どもたちは連携プレーで見事30cmを超える魚を捕まえていました。



▲笑顔で川遊び



▲魚を手づかみ「とったぞ！」

天正遣欧少年使節ゆかりの地 中学生交流

交流の輪広げる

8月12日～14日まで、天正遣欧少年使節のゆかりの地（宮崎県西都市、長崎県雲仙市、西海市、大村市、波佐見町）の中学生交流が雲仙市で行われました。

中学生交流には、ゆかりの地から52人が集まり、波佐見中学校からも9人が参加。原マルチノの研究発表や学校紹介、少年使節に関する史跡を見学して知識を深めたほか、レクリエーションや宿泊を通して交流の輪が広がりました。▲学校紹介や研究したことを発表



第1回 中尾山陶芸家塾 土と向き合う16日間

8月20日から9月4日まで、陶芸家を目指す若者が全国から中尾山に集まり、窯元と交流を深めたり、一心不乱に創作に取り組む『中尾山陶芸家塾』が開催されました。

今回の塾には、男女8人が参加。中尾山伝習館に共同生活しながら、ロクロ成形、釉薬、焼成、上絵付けなど一連の工程を学び、それぞれが豊かな発想を生かした作品を作り上げました。



▲熱心に創作に打ち込む塾生

第8回 田んなか・どろどんぎょ祭り

どろどんぎょになろい！

8月16日、稗木場郷で『田んなか・どろどんぎょ祭り』が開催され、参加した大人と子どもの約50人が泥だらけになりながら笑顔で競技を楽しみました。

競技は、数メートル先の苗に向かって全力疾走した後豪快に飛び込む「苗取り競争」、稗木場郷壮年会メンバーによる趣向を凝らした芸「田んなか仮装舞踏」、ぬかるむ足元に苦戦しながらもハッスルプレーが続出した「どろどんぎょバレー」、麦わら帽子争奪戦の「騎馬戦」などが行われ、年に1度の泥んこ遊びを満喫していました。



▲泥んこになりながらも笑顔でプレー（障害物競走）



池上 明里ちゃん
(湯無田郷)
H20.9.21生まれ

昌平さんの長女
聰子

※元気で明るい子に
育ってね♥



元気っ子

このコーナーでは、満1歳前後のこどもさんを募集しています。
掲載希望の方は役場商工企画課広報担当まで連絡してください。

楠本 愛莉ちゃん
(皿山郷)
H20.10.3生まれ

和之昌子さんの長女

※いつも笑顔で
元気に育ってね。



第3回 はさみ子どもサミット

僕たち私たちができること

8月25日、『はさみ子どもサミット』が総合文化会館で開催され、小学5・6年生の12人と中学1～3年生の6人が「あいさつ」について討論しました。

参加した子どもたちは「各学校のあいさつ運動や課題」、「あいさつをしない人がするようになるには」などを様々な角度から発表。賛成や反対の意見を交え、「あいさつ運動を学校だけではなく、地域に出て範囲を広げる」、「町内放送で全体に呼びかける」、「ポスターを作ったり、校内集会での呼びかけを増やす」の3点をそれぞれが学校で実践し、あいさつを波佐見町全体に広げようと結論が出されました。

皿山人形浄瑠璃

情感あふれる演目披露

8月21日、皿山大神宮夏越祭りで『皿山人形浄瑠璃』が上演されました。

今回は「三番叟」と「壺坂観音靈験記」が演じられ、人形の使い手と人形が一体になった情感あふれる動きに加え、大夫の語りと三味線の音色が集まった観衆をさらに魅了しました。

また、「壺坂観音靈験記」は昨年の公演で大夫デビューした、地元皿山郷の西浦美保子さんと松尾みどりさんの初語りの演目。1年間の経験で語りの表現にも磨きがかかる、三味線の音とともに人形の動きを引き立てました。



▲大夫の語りに磨きがかかる
西浦美保子さん(左)と松尾みどりさん



▲使い手と人形が一体となった動き

心も踊る はさみ夏まつり

8月28日、『はさみ夏まつり』が旧波佐見温泉センター周辺で開催され、町内外からの人出で賑わいました。

露店が並ぶ会場では、夕暮れになると町婦人会の波佐見節を皮切りに、心も躍るダンスやよさこい演舞、バンド演奏などが祭りのムードを盛り上げ、最後には色鮮やかな約800発の花火が、まつりを華やかに締めくくりました。



▲ダンスが祭りのムードを盛り上げる



▲町婦人会の伝統となった波佐見節を披露



▲全国大会に出場する9人の拳士

7月5日に佐世保市体育文化館で開催された少林寺拳法長崎県大会で、小学生団体演武に出場した拳士が最優秀賞を獲得し、見事全国大会出場を決めました。

【全国大会出場拳士】※敬称略

松尾 悠希	(三股)
尾上 琴乃	(永尾)
宮崎 夏海	(湯無田)
藤田 蓮	(中尾)
阪口 大也	(金屋)
田代 敏士崇	(折敷瀬)
原田 石橋	(稗木場)
山田 健太	(木)

全国大会は、10月11日に青森県で開催され、9人の拳士が出場します。応援をお願いします。

少林寺拳法 全国大会出場

硬式テニス

九州大会3位

中島ありすさん



8月4日・5日に宮崎県で行われた、九州地区中学生選抜テニス大会に出場した波佐見中学校2年生の中島ありすさん(湯無田)が、見事3位に入賞しました。

中島さんは、県大会3位で九州大会に出場。県大会で優勝できなかつた悔しさをバネに臨んだ九州大会では、「サーブやフォアがよく決まった」と九州各県の強豪に見事打ち勝ちました。

中島さんは「来年はもっと上を目指したい。憧れのシャラポワ選手みたいになりました」と話していました。



▲準優勝のエンジェル

8月23日、町内や佐世保市などから10チームが参加した隣接婦人バレーボール大会が体育センターで開催され、波佐見町のエンジエルチームが準優勝しました。

隣接婦人 バレーボール大会

8月2日、波佐見中学校生徒と保護者がミニバレーボール大会で、親子の親睦を深めました。

大会結果（各コート優勝のみ）

（体育センター）

A..中尾 B..鬼木

（中学校体育館）

A..折敷瀬E B..折敷瀬B
A..野々川 B..宿A

球技大会歓迎

第7回 『だんじやなかばい』 はさみ林道マラソン 参加者募集！！

11月22日(日)

10:30 スタート



- ◆競技種目 ハーフマラソン (21.0975km)
- ◆コース 広域基幹林道 虚空蔵線
- ◆参加資格 一般男女 (高校生以上)
- ◆参加料 2,500円
- ◆申込締切 10月9日 (金) 先着100人限定
- 問い合わせ先
はさみ林道マラソン事務局 (総合文化会館内)
☎85-2034 FAX26-7090



初心者でも楽しめ、生涯スポーツとしても楽しめます。全身を使って矢を放つ爽快感と弓道と一緒に楽しみましょう。

◆募集 高校生以上の男女

◆練習日時 毎週水・金曜日

19:30~21:00

◆練習会場 波佐見弓道場 (甲辰園グラウンド上)

◆募集期日 9月30日 (水) まで

●申込先 波佐見弓道会 田崎清人

☎85-2661

波佐見町体育協会 (総合文化会館内)

☎85-2034



町民大運動会

10月11日(日)

場所／波佐見中学校グラウンド

皆様ふるってご参加ください！！

大会当日は、大変混雑が予想されます。

自家用車でご来場される方は、乗り合わせてのご来場をお願いします。

☆出場チーム・出場者募集☆

職場・クラブ対抗リレー

◆チーム編成

同一職場・クラブ内で、男子3人、女子3人の計6人です。

◆競技方法・注意事項等

① トラックは1周200mで、男女とも半周ずつのリレーです。

② ゼッケンは各チームで準備し、胸部につけてください。

③ 競技の30分前までに出場準備し、

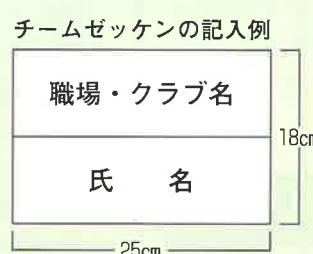
入場門付近にご集合ください。

◆申込締切日

9月30日(水)

●申込み及び問い合わせ先

役場商工企画課 ☎85-2111 FAX85-5581



もうすぐ小学1年生

◆参加対象

町内在住の来年及び再来年
小学校に入学(平成22年4月、
平成23年4月入学)する子どもとその保護者

◆参加方法

参加を希望される方は、競技の30分前までに入場門付近にご集合ください。

(事前申込は不要です)

同窓会「鴻陵会」総会

8月14日の16時から、波佐見町農村環境改善センターで、波佐見高校同窓会「鴻陵会」の総会が開催されました。

当日は、お盆の時期にも関わらず、一瀬政太町長様をはじめとする来賓の方々をお迎えし、多くの同窓生の皆様の参加のもと、事業説明等の議事、それに対する意見交換が活発に行われました。

波佐見高校だより < Vol.119 >



▲身だしなみ人形

また、生徒たちへ制服の正しい着用を啓発するため「身だしなみ人形」を作製したことを紹介いたしました。【写真】

協議の中で、部活動の活性化が高校生活の充実につながるという観点から、同窓会より波佐見高校の各運動部に「部旗」を寄贈することが提案、了承されました。これは、本校にとって大変ありがたいことであり、部員が考えた「スローガン」を染め抜いた旗のもと、各部は新たな歴史を刻むことになりました。

これからは、各部の思いを込めた「部旗」を体育館、グラウンド、コート等に掲げ、生徒たちは旗に恥じない目標を持って力一杯練習に励みます。同窓会の皆様、ありがとうございました。

なお、総会終了後に清旬の郷で行われた懇親会にも、総会を上回る参加があり、年代を超えて、各テーブルとも笑顔満開で、大いに盛り上りました。ふるさとの先輩たちに支えられた、波佐見高校です。

不妊治療助成

特定不妊治療費助成額は、1回の治療につき10万円が限度でしたが、平成21年度から上限額が15万円になりました。(治療の内容、所得の制限等の要件があります)

●問い合わせ先

県央保健所 ☎0957-26-3304

児童扶養手当を受けているお母さんの就業支援

児童扶養手当を受けているお母さんで、これから仕事に就きたい方、転職したい方、資格を取ってスキルアップをしたい方を支援します。

経験豊富な担当者が、ハローワークと協力して仕事探しのお手伝いをします。

●問い合わせ先

東彼・北松福祉事務所 ☎22-3211

9月12日～10月11日 農作業安全運動月間

秋の農繁期を迎え、農作業事故発生の危険性も高まります。長時間の作業はこまめに休憩をとりながら行い、万一の事故に対処できるよう、トラクターには安全装備をつけると共に、2人以上で農作業を行いましょう。

10月1日～7日 全国労働衛生週間

「トップが決意 みんながつくる 心の健康・明るい職場」
全国労働衛生週間は、働く人の健康の確保・増進、快適に働くことができる職場づくりに取り組む週間です。職場の整理整頓・清掃・清潔の徹底と見直しに努めましょう。

10月1日～7日 公証週間

公証制度は、契約書や遺言などについて公証人が公正証書を作成し、トラブルを防止する制度です。公証週間の平日8時30分から17時、土・日の9時から16時までは無料相談が行われます。

●問い合わせ先

佐世保公証役場 ☎22-6081

10月1日～31日 「木づかい推進月間」

健全な森林を維持するためには、適切な間伐や伐採が必要です。これらの材を使うことで国内林業を活性化し、日本の森林を守るために、国産材の利用にご協力ください。

エコポイント交換のお知らせ

9月18日からエコポイントは “ハサミックカードお買い物券” に交換できます！

省エネ性能の高い家電製品（エアコン・冷蔵庫・地デジ対応テレビ）を購入して、取得したエコポイントは、交換申請をすることで波佐見町のハサミックカードお買い物券にも交換できます。

お買い物券は、ハサミックカード加盟店でのみ利用ができます。ぜひ、ご利用ください。

●問い合わせ先

波佐見町商店振興会・ハサミックカード

☎85-7233 (平日 9:00～15:00)

県立佐世保高等技術専門校 入校生募集

●募集科目

定員各科20名（推薦枠含む）

【2年課程】自動車整備科、電気システム科

【1年課程】OAビジネス科、建築設計施工科、機械技術科、溶接技術科、塗装技術科

●願書受付 10月9日（金）～10月21日（水）

●入校選考日 10月29日（木）

●試験科目 学力試験（国語、数学）、面接

●特典 受験料、入学金、授業料は無料

●問い合わせ先

佐世保高等技術専門校 ☎62-4151

登録会員募集！

(社) 波佐見町シルバー人材センター 事業普及啓発促進月間 10月1日～31日

60歳以上の健康で働く意欲のある方は
どなたでも入れます

皆さんの知識と経験を地域社会に生かそう



いもさし風景

センターでは、生ゴミ
をリサイクルして、元
氣野菜づくりにチャレ
ンジしています。

ご参加ください！

入会は、事務所（役場駐車場内）へお越し下さい。

●問い合わせ先

(社) 波佐見町シルバー人材センター

☎27-6101 FAX27-6105





夏休み保育園・幼稚園体験事業を終えて

今年の夏も7つの保育園・幼稚園で81名の小・中学生が子ども達とふれあいました。受け入れてくださった園を代表し、蓮池保育園より体験の様子を伝えてもらいます。



保育園体験事業に賛同して、早15年(回)を迎えました。当初小中学生の受け入れに対し、お預かりした乳幼児に怪我が有ってはとの懸念と、参加者の事故に対する心配で保育士自身緊張の3日間を過ごした事等が思い出されます。

現在ではお互いに初対面の緊張した表情は一時で、参加した学生たちの視線は、小さい子どもに対する慈しみと、何かをしてあげようとする優しい配慮が箇所箇所に見受けられます。園児、特に乳児は初対面の大人には3日間という短い期間に自分を安心して委ねることはしませんが、学生たちの素直に見守ろうとする相手の気持ちが小さい子どもたちに通い合うのでしょうか。ふれあい遊び・わらべ歌・絵本の読み聞かせ・ゲーム・食事の介助・水遊び・一人ひとりの子どもたちの心が満たされた3日間で、反面学生にとっては自分たちが、必要とされていることを実感できる場として体験事業は人間関係の大切な絆づくりの場として、多くの学生に門戸を広げる必要を感じる昨今です。

蓮池保育園



辺境のひとりごと

波佐見町教育委員会 学芸員 中野雄二

第18回 海外輸出時代①

1650～60年代に入ると、波佐見で生産されていたやきものに大きな変化が認められます。以前までは国内向けの青磁を多く作っていましたが、それをやめて、海外への輸出品を生産の中心にすえようになりました。

「青磁の時代」から「海外輸出時代」へと、波佐見の窯業は新たな段階に足を踏み入れます。それでは何故、海外への輸出が盛んになつたのか、その時代背景を探つてみましょう。

1644年、それまで中国大陸を支配していた明王朝が新たに興った大清国に滅ぼされ、清王朝が始まります。しかし、明王朝を支持する人々は依然として

多くの、清王朝に対し激しく抵抗を続け、中国大陆は内乱状態に陥りました。当時の中国の代表的な窯場である、江西省の景德鎮窯や福建省南部の漳州窯は戦乱に巻き込まれ生産力が著しく低下します。また、清王朝は抵抗する勢力を経済的に封鎖するため、1656年に海外貿易を禁じる「海禁令」を公布します。その結果、中国の磁器は海外へ輸出できなくなりました。

波佐見の窯場には海外輸出という大きな波が到来し、波佐見のやきものは世界デビュートを果たすことになりました。それは、磁器生産の開始から約半世紀後のことでした。



▲福建省産の明代青磁皿



▲福建省産の明代染付皿

第25回『東京波佐見会 郷寄り総会』開催

遠く故郷を離れ、関東でがんばっている波佐見んもんがいっぱいいます。

年に1回みんなで集まって、親睦を深めています。

関東にいらっしゃるご家族、ご親戚に是非ご紹介ください。

“東京波佐見会は、関東の地から故郷波佐見を応援しています”

東京波佐見会長 岸川 美徳（野々川）

事務局長 宮崎 陽世（湯無田）

●問い合わせ先

東京波佐見会事務局（宮崎宛） ☎044-701-4398 FAX044-701-4398

波佐見町役場 商工企画課 ☎85-2111(内線220) FAX85-5581

E-mail town-office@town.hasami.nagasaki.jp

●開催日時 10月31日（土） 12:00～15:30（受付開始11:00～）

●場所 ホテル メトロポリタン エドモント（3階 千鳥・春琴の間）

〒102-8130 東京都千代田区飯田橋3-10-8 ☎03-3237-1111

●会費 男性：9,000円、女性：7,500円

暮らしのカレンダー

※図書館休館日については、P13の図書館だよりに掲載しています。

けんこう

母子手帳交付 [10月5日(月) 波佐見町役場 9:30~11:00]
 [10月19日(月) 波佐見町役場 9:30~11:00]

乳児健康相談

[H21年3月生] 10月6日(火) 総合文化会館 9:30~10:30受付
 [H21年7月1日~7月28日生] 10月28日(水) 総合文化会館 13:20~13:50受付

3歳児健診

[H18年3月26日~5月25日生] 10月21日(水) 総合文化会館 13:00~13:20受付

子育てサークル [10月8日(木) 勤労福祉会館 10:00~
 10月22日(木) 勤労福祉会館 10:00~]

健康相談 10月7日(水) 波佐見町役場 13:00~15:30

【ボリオ予防接種】 <生後3か月~90か月未満>
 10月13日(火) 14:00~14:30受付 総合文化会館

【食生活改善推進員養成講座】

10月13日(火) 13:00~17:00 農村環境改善センター

そうだん

心配ごと相談 (町社会福祉協議会 ☎85-2240)

◎水曜：役場第3会議室

◎9月26日(土)は総合文化会館、10月24日(土)は農村環境改善センター

9月26日(土)9:30~11:30 ◎相談員 長崎重信;峯 巖

30日(水)13:30~16:00 ◎相談員 野添元義;石橋安幸

10月7日(水)13:30~16:00 ◎相談員 山崎章三;峯 巖

14日(水)13:30~16:00 ◎相談員 石橋安幸;長崎重信

21日(水)13:30~16:00 ◎相談員 一瀬信子

24日(土)9:30~11:30 ◎相談員 山崎章三;野添元義

28日(水)13:30~16:00 ◎相談員 石橋安幸;峯 巖

*9月30日(水)と10月21日(水)は、行政相談と合同です。

*9月26日(土)は、ひとり親相談と合同です。

*野添相談員が入る相談日は、行政相談も含まれます。

行政・人権・心配ごと合同相談 (役場第3会議室) 10:00~16:00
 10月21日(水) ◎相談員 村川、野添、溝上、一瀬

年金相談 (役場相談室) 10:00~15:00
 10月7日(水) ◎相談員 諸早社会保険事務所相談専門員

夜間納税相談 (役場相談室ほか) 17:15~20:00
 9月25日(金)、10月26日(月) ◎相談員 税務課及び保健衛生課職員

来月の納金
(10月)

●●
町県民税
水道使用料

●●
介護保険料
国民健康保険料

9月の口座振替日は25日です

【胃がん検診】

※検診前日の夜9時以降は飲食・喫煙をしないでください。

検診日	場所	受付時間
10月20日(火)	総合文化会館	8:30~
10月21日(水)	農村環境改善センター	11:00
10月22日(木)	勤労福祉会館	

【婦人がん検診】

※昨年マンモグラフィ検査を受けた方は、乳がん検診は受診できません。
 ※骨粗しょう症検診は10月17日(土)、10月30日(金)のみです。

検診日	場所	受付時間
10月15日(木)	勤労福祉会館	午前
10月16日(金)	勤労福祉会館	8:30~
10月17日(土)	総合文化会館	9:10
10月29日(木)	総合文化会館	午後
10月30日(金)	農村環境改善センター	13:00~
10月31日(土)	農村環境改善センター	13:40

【家族介護教室】

9月25日(金) 14:00~16:00 総合文化会館

二種混合予防接種

9月28日から10月30日まで、小学6年生を対象に二種混合の予防接種を実施します。

町内の医療機関のほか、県内の医療機関（一部を除く）でも受けられますので、接種してください。

●問い合わせ先

役場保健衛生課 健康増進係 ☎85-2111(内線132~134)

催し物

※日程変更の場合があります

波佐見中学校運動会	9月20日(日)	中学校グラウンド
鬼木棚田まつり	9月23日(祝)	鬼木郷
波佐見ツインウォーキング	9月26日(土)	やきもの公園スタート
東・中央小学校運動会	10月4日(日)	各小学校
町民大運動会	10月11日(日)	中学校グラウンド
畠ノ原まつり	10月18日(日)	村木郷
学童野球波佐見大会	10月18日(日)・25日(日)	鴻ノ巣グラウンドほか
町民文化祭	10月24日(土)・25日(日)	総合文化会館



南小学校教諭 福田泰三
(波佐見町食育推進委員)

『生ごみリサイクル元気野菜』は子どもの身体と心を育てる

「生ごみリサイクル土作り」とは、生ごみを有機物として土に循環させる方法です。やり方は、給食の残菜等の「生ごみ」にボカリ(米糠に微生物菌をませたもの)を土に混ぜます。その上にビニールシートをかぶせ「土ごと発酵」をさせます。

3日後には生ごみを分解するため、白カビが生え熟くなっています。酸素を入れるために土を耕します。1週間後にも土を耕し、2週間後には生ごみも消え、1ヶ月後には栄養たっぷりのほかほかした土のできあがりです。はじめ、生ごみを「くさい!」「うえ!」と言いながら活動していた子どもも生ごみが消えたのを見て感動をします。

生ごみリサイクル土で作った野菜は、土ごと発酵の微生物菌の強さで生命力や栄養価が高い野菜ができます。本校でも毎年人参を作ります。子どもの感想から「人参をかじったら、口いっぱいに人参の香りが広がりました。人参をかじって数秒で食べていたけれど、人参を育てて食卓に出るまでにはたくさんの時間と手間がかかっていることを改めて感じた。土はすごい。人参を命いっぱい大きくしてくれ甘くしてくれた。大事に食べようと思った。」

こうした食べ物とつながることで、自分自身の免疫力も高まり、食への感謝の気持ちも育ちます。



▲土の温度計り